

視聴覚教育

NO. 309

発行日

17.1.13

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

視聴覚ライブラリー

50周年記念事業

現職教育委員会学習情報部長

菅沼 国雄

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、平成17年の新春を迎え、決意も新たにそれぞれの職場・団体で活動をスタートしてみえることでしょうか。

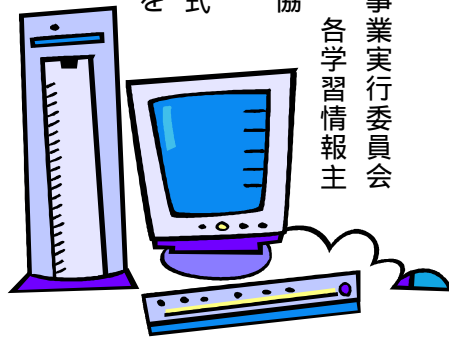
さて、来る2月5日(土)に、岡崎市視聴覚ライブラリーは、設立50周年記念事業を予定しています。岡崎市視聴覚ライブラリーは、昭和29年、県下に先駆けて「岡崎市小中学校視聴覚教育協会」として発足し、昭和48年の公立化を経て半世紀が過ぎました。設立に関わった方々や半世紀の間、運営に携わってきた方々の苦勞や数々の成果を考えますと、改めて敬意を表する次第です。

特にこの10年を振り返ってみますと、コンピュータを中心に、デジタル化・情報の高速化や大容量化が目覚ましい勢いで普及・進化しており、

視聴覚用語
「プラグアンドプレイ」
周辺機器をPCに接続すると自動的に適切なドライバを探してきて使用可能にする仕組み。ユーザーから見ると、ハードウェアアウイザードがそれにあたる。

今や「十年ひと昔」とはいえないほど、技術の進歩が目覚ましい時代となっています。視聴覚ライブラリーも自作教材の制作を核として、デジタルビデオライブラリーの構築やケーブルテレビへのデータ配信など新しい取り組みを進めてきました。

現在、50周年記念事業実行委員会のメンバーを中心に、各学習情報主任や多くの団体に「協力」をいただきながら、記念誌の作成や記念式典・イベントの準備を進めております。イベントでは、「盲導犬クイール」の一生をはじめ多くの16ミリ映画の上映を行うたり、マルチメディア体験コーナーを設置したりする予定です。
ぜひたくさんの皆様にご参加していただきたいと願っています。



「視聴覚あれこれ」

入賞おめでとうございます

〈第3回 全国こども科学映像祭〉

全国こども科学映像祭は、身の回りの生き物の不思議な世界や誕生など、科学の楽しさ、すばらしさを、ビデオカメラで撮影したり編集作業をしたりする中で培ってほしいと、(財)科学技術振興機構や(財)日本科学映像協会などの主催で行われている事業で、今年で3回目になります。

このたび、岡崎市内の小中学生の応募の中から、次の二部門で入賞しました。

中学生部門 文部科学大臣賞

「南の北国? 東海学区 冬の謎」

岡崎市立東海中学校 報道部

小学生部門 佳作

「スジエビの住む川」

岡崎市立山中小学校 4年 内田 智文

なお、東海中学校は、一昨年、昨年に続き、三年連続文部科学大臣賞という輝かしい成果をあげました。

〈第20回東書教育賞〉

東書教育賞は、(株)東京書籍が、全国の優れた実践をまとめた論文に対して贈る賞です。

中学校B部門 (情報通信メディア活用部門)

優秀賞

「開かれた学校をめざす

情報通信ネットワークの構築」

岡崎市立北中学校 森 竜師

「実践報告」

発表が活動に勢いをつける

岡崎市立六ツ美中部小学校 鳥田晃司

学区の人たちも参加する「中部っ子フェスティバル」で総合学習で取り組んでいる国際理解の学習を発展させて、「外国クイズ」の作成と発表を行った。

作成は、『@発見島』『チリチリランド』をベースにインターネットで調べた資料や写真の取りこみ、画像処理、作画等多様なソフトを活用してクイズを制作した。

またフェスティバル当日、児童はパソコンに向かってクイズをする来場者の操作補助者として活動した。

発表の場では、さまざまな人と接し、感心されたり、ほめられたり、たくさんのご感想や思いに触れた。これまでに何度となくやり直したり追加したりと作成に費やした時間や苦勞もどこかに吹き飛び、自慢気にパソコン操作に動き回る児童の姿を目にすることができた。

普段パソコンは教科の調べ学習やまとめの学習に活用され、楽しく取り組んでいるが、なかなか情報発信の活動には結びついていない。しかし、今回のように目的意識を強く持つ発表の場を設定することで、児童の手による情報発信への有効な働きかけになったと考える。



「視聴覚ライブラリー設立50周年記念式典・イベント」のご案内

一、日時 平成17年2月5日(土) 10時

二、場所 太陽の城

三、内容

式典

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール表彰式
- ・視聴覚ライブラリー設立50周年記念式典
- ・記念講演『デジタル時代の

NHKの学校放送番組』

講師 NHK学校教育番組デスク

笠原 達也氏

イベント

・親子映画会

《午前の部》

「やさしいオオカミ」「ちびまる子ちゃん」
「くまのおいしゃさん」「おにたのぼっし」
《午後の部》

「おおきななぐ」「鉄腕アトム」

「盲導犬クイルの一生」

「クマのミナクロと公平じいさん」

「5等になりたい」「とべないホテル」

「とも子ちゃんとおたし」

・マルチメディア体験

「タイピングコンテスト」

「ロボット(アイボやペロ)と遊ぼう」

他ソフトウェア体験コーナー

お願い 駐車場が少ないため、お越しの際は

できるだけ公共交通機関をご利用ください。

ライブラリーだよ

「ライブラリー新規購入機器紹介」

今年度ライブラリーでは、プレゼンテーションのためのツールとして次の3機種を新規購入しました。ぜひご利用ください。

ビジュアルプレゼンター

(アナログRGB出力タイプ)

エルモ社製

HV-10XG

・重さ1.5kg、折りたたみはほぼB5サイズの教材提示装置。高画質・高精細の85万画素プロジェクティブ

CCDカメラを搭載。

ハイスペック・液晶プロジェクター

エルモ社製EDP-X900

・高輝度・高画質のハイスペック・プロジェクター。四五〇

〇lm、高解像度XGA(VGA

ASUXGA対応)。

マルチプロジェクター(書画カメラ機能つき)
日本アビオニクス社製

MP-20

・二〇〇万画素の書画カメラ内蔵により、紙の資料や立体サンプルを投影。A4サイズの原稿を縦横自在に投影することも可能。明るさ二〇〇〇lm、SXGA対応。

